

令和4年6月20日～6月26日までの全国の暑さ指数(WBGT)の観測状況 及び熱中症による救急搬送人員数と暑さ指数(WBGT)の関係について (令和4年度第8報)

1. 全国の暑さ指数(WBGT)の観測状況について

6月20日～6月26日の6都市(注1)の日最高暑さ指数(WBGT)の平均値は、前半は「警戒」を示す25以上28未満、後半は「嚴重警戒」を示す28以上31未満になりました。

6都市の10年間平均値と比較すると、常に高く22日以降は3以上、26日は4近く高くなりました(図1、表1参照)。

11都市(注2)では、全国的に「警戒」に、仙台、新潟、大阪、福岡は「嚴重警戒」に、東京、名古屋、高知、鹿児島、那覇は「危険」を示す31以上となる日がありました(表1、表2参照)。全国を見ると、北海道以南で28以上、関東以南では31以上となる日がありました。

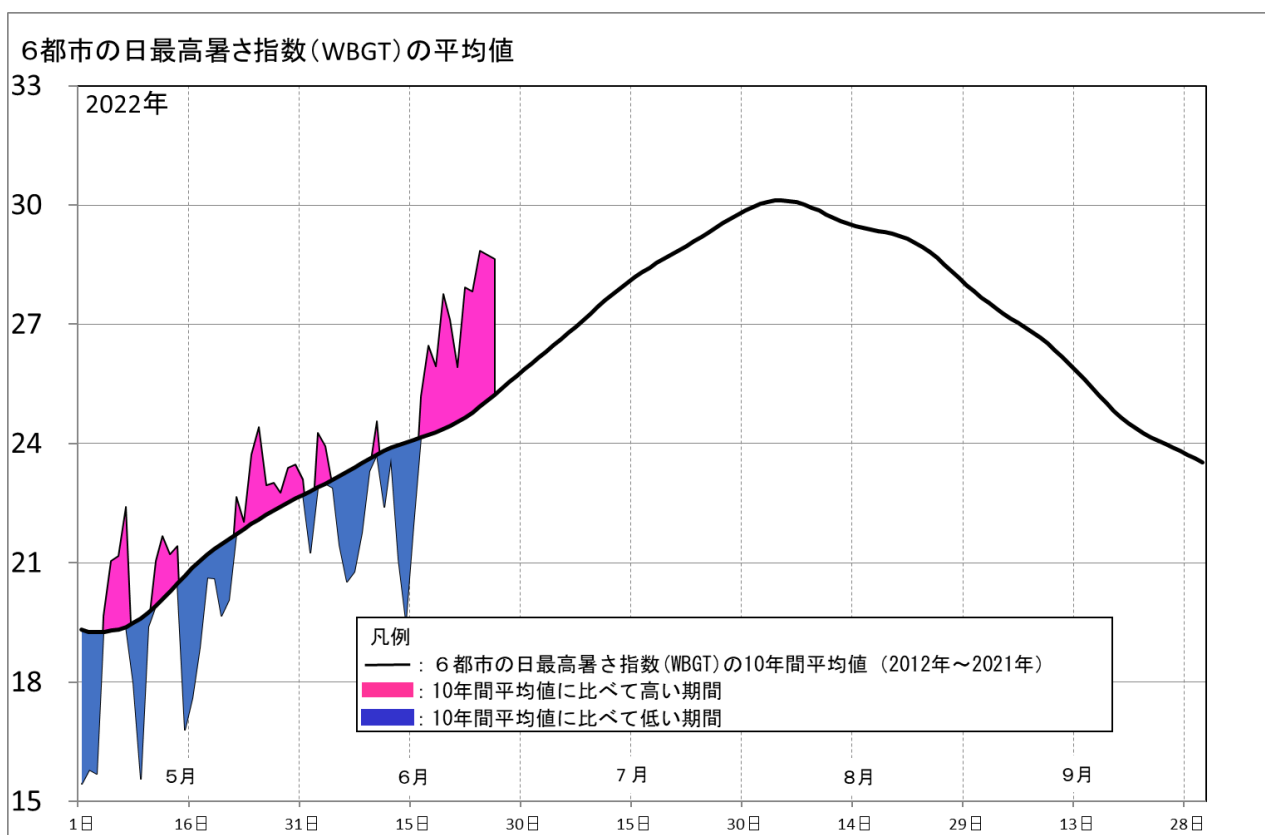


図1 全国の暑さ指数(WBGT)の動向と過去10年間平均値との比較

表1 全国11都市(注2)の日最高暑さ指数(WBGT)(6月20日～6月26日)(注3)

日	札幌	仙台	新潟	東京	名古屋	大阪	広島	高知	福岡	鹿児島	那覇	6都市平均
20	20.8	27.5	26.0	28.9	28.5	26.5	26.0	27.2	26.8	28.8	30.7	27.1
21	21.4	23.7	25.7	27.3	26.1	24.1	23.5	24.2	28.8	25.9	30.7	25.9
22	22.5	22.7	26.9	27.3	27.3	28.9	27.7	29.6	29.5	28.4	30.7	27.9
23	17.8	19.9	27.4	24.6	29.3	29.1	27.9	30.0	28.6	30.6	31.2	27.8
24	19.2	26.6	28.1	30.0	30.3	28.7	27.3	29.7	28.7	31.0	31.1	28.9
25	26.1	29.0	27.5	31.4	31.2	29.8	27.7	31.5	24.9	26.8	31.3	28.8
26	23.9	28.7	27.5	31.0	29.6	28.4	26.3	29.6	29.1	29.7	31.5	28.7

注1 6都市：東京都、大阪市、名古屋市、新潟市、広島市、福岡市

注2 11都市：札幌市、仙台市、新潟市、東京都、名古屋市、大阪市、広島市、高知市、福岡市、鹿児島市、那覇市

注3 表1、表2の値は速報値であり、年度末に発表される確定値とは異なる場合があります。

表2 全国11都市の6月20日～6月26日の暑さ指数(WBGT)超過時間数(注3)

超過時間数	札幌	仙台	新潟	東京	名古屋	大阪	広島	高知	福岡	鹿児島	那覇
31以上	0	0	0	3	1	0	0	1	0	1	7
28以上	0	5	1	26	24	20	0	17	12	24	74
25以上	3	32	44	63	67	72	39	76	77	89	168

ほぼ安全	注意	警戒	厳重警戒	危険
21未満	21以上25未満	25以上28未満	28以上31未満	31以上

2. 6都市の日最高暑さ指数(WBGT)と熱中症による救急搬送人員数(全国)との関係

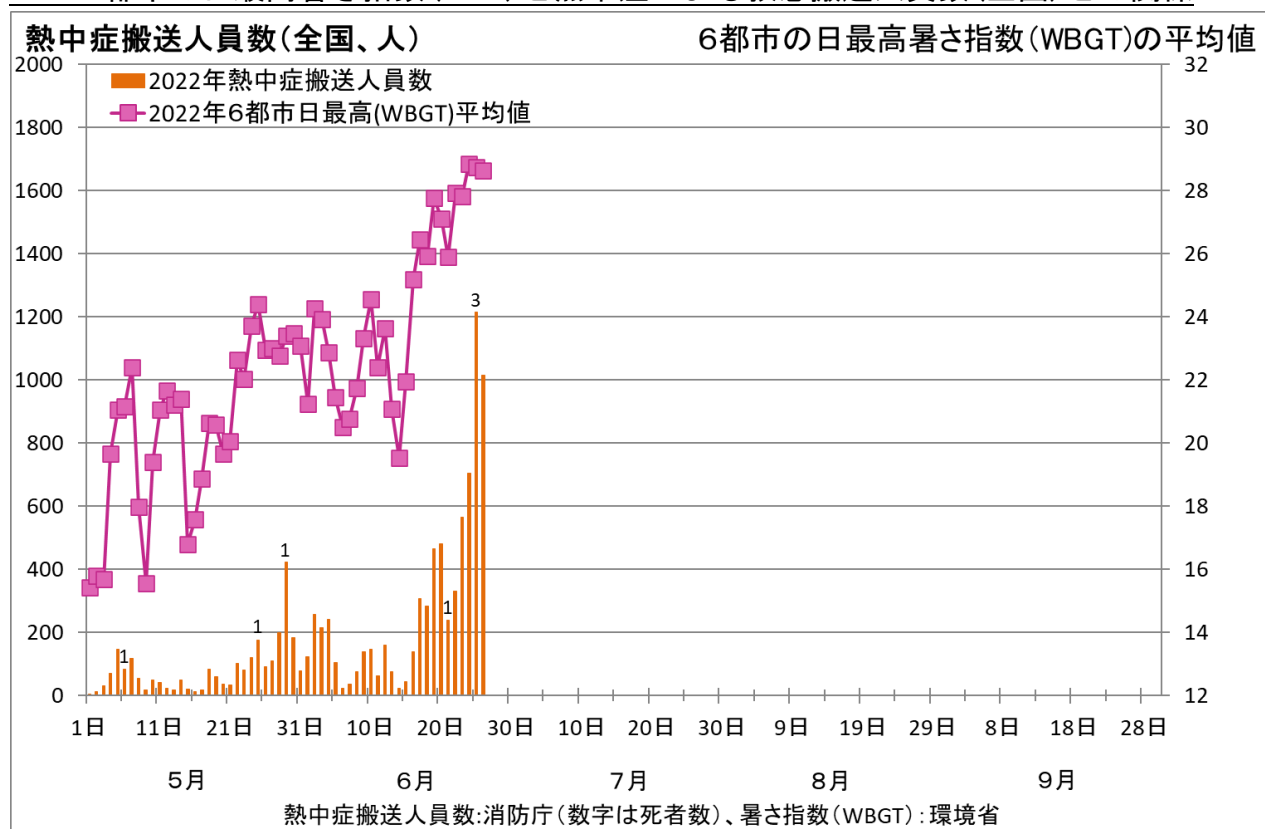


図2 6都市の日最高暑さ指数(WBGT)の平均値と熱中症搬送人員数の推移

6月20日から6月26日までの6都市(注1)の日最高暑さ指数(WBGT)の平均値は、前半は「警戒」を示す25以上28未満、後半は「厳重警戒」を示す28以上31未満になりました(表1、図1)。

消防庁発表の速報によると、熱中症による救急搬送人員数は、25日が1,215名、26日が1,015人と2日連続で千人を超え、前週(1,337人)の3倍以上となる、4,551人(死者4名含む)と急激な増加となりました(図2)。

3. 全国の熱中症警戒アラートの発表状況

6月20日から6月26日までの熱中症警戒アラート発表状況は、以下のようになっております（表3）。

表3 全国の熱中症警戒アラート発表状況（6月20日から6月26日）

地方※ ¹	北海道	東北	関東甲信	東海	北陸	近畿
域内平均※ ²	0	0	0.2	0	0	0
のべ回数	0	0	2	0	0	0
地方※ ¹	中国	四国	九州北部※ ³	九州南部・奄美		沖縄
域内平均※ ²	0.3	0.3	0.2	1.3		2
のべ回数	1	1	1	4		8

※1：気象庁の地方予報区単位（別図参照）
 ※2：「地方内府県予報区の1週間ののべ発表回数」÷「地方内府県予報区数」
 回数は前日17時、当日5時どちらかの発表で1回とカウント
 ※3：九州北部には山口県も含まれる

4. 今後の見通しと注意点

7月1日までは、北海道以南で「警戒」を示す25以上、東北地方以南では「危険」を示す31以上になる地点がある見込みです。

気象庁の週間天気予報（6月29日発表、予報期間：6月30日～7月6日）によると、「最高気温と最低気温はともに、平年より高く、かなり高い所が多い見込みです。35℃以上の猛暑日となる所もある見込みで、熱中症など健康管理に注意してください。」となっております※⁴。

※4：全国の地方週間予報から気温予報の概要を編集。詳しくは気象庁ホームページの最新情報を参照願います。

○梅雨明け発表（東北地方北部を除き）があり、猛烈に暑い日が続いております。夜間も気温が下がらない日が多くなっておりまして、日中はもちろん、夜間就寝中の熱中症にも十分お気を付け下さい。特に体調の変化に気付きにくい高齢者や子どもさんには、積極的な声かけをお願いいたします。

